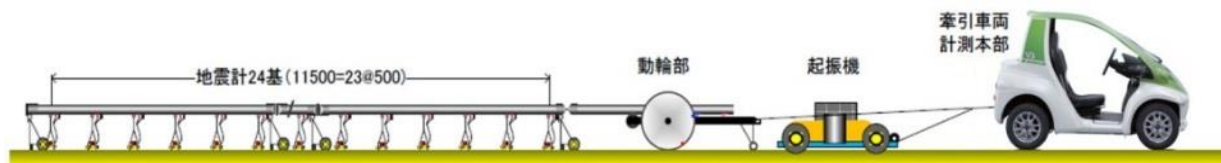


研究テーマ： 舗装から路体深部までの包括的診断システムの研究

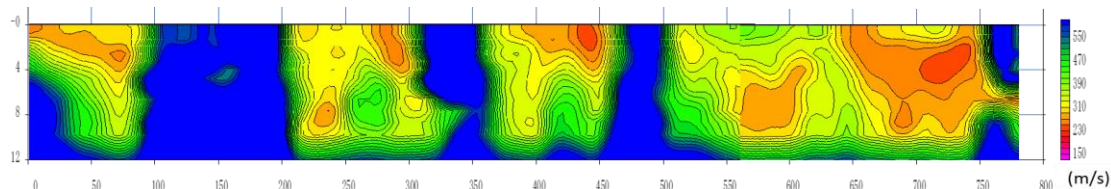
研究概要： 舗装と盛土構造の点検・診断自動化技術の開発

- 弾性波(S波速度)と電気比抵抗を用いて、地下10m以深までの地盤強度を効率的に調査する機器と、GIS上のデータベースの開発等を行う。
(岐阜大学八嶋教授・村田客員教授らとの共同研究)
- センターはGIS上でのデータベース構築(調査・設計・施工・点検・補修等のデータの収集)、現地実証実験の実施、県との各種調整等を担当。

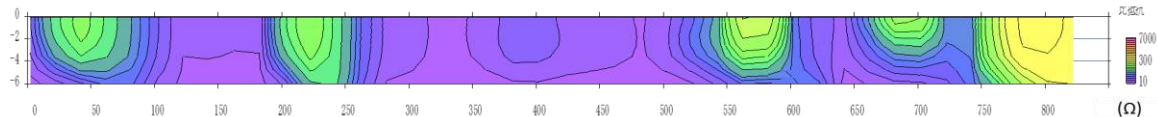


＜自動計測装置のイメージ＞

弾性波探査(S波速度)



電気比抵抗探査



↑ 地盤強度・土質・水分等を評価し、安全度の判定や対策工の検討等に活用する



- 本研究は内閣府の「戦略的イノベーションプログラム(SIP)」に採択されました。(H26～H28年度。助成額＝約107百万円)
- H26・27年度は新東名高速道路、県管理道(御嵩町・関ヶ原町・高山市等)にて現地実証実験を実施。
- H28年度に自動化技術やデータベースを確立。